

# 出張報告書

津山市議会議員 安東伸昭



出張日	令和2年 5月 8日
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	真庭市議会 傍聴
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	タブレット端末を使った本会議の状況視察と活用内容
応対者／講師名	議会事務局及び柴田議員
目的	令和2年5月補正予算49億7906万円の内容 ・真庭市議会の議会提出の予算書の表記について ・タブレット端末の活用状況
概要	全ての議員がタブレット端末の資料を見ながら、議会質問を聴取している。
得られた成果 施政への反映点 今後の課題点 など	真庭市は、「特別定額給付金44億9492万円」とGIGAスクール予算3億8696万円の議会承認 ・注目は、真庭おもいやり事業15,000千円 企業人材スキルアップ支援事業 補正後 4,500千円 オンライン講座等受講支援

令和2年3月第2回真庭市議会臨時会（付議事件）一覧

令和2年3月20日（金）17時38分 提出

議案番号	議案名	ページ
専決第1号	1 真庭市税条例等の一部改正（第1号）	2
専決第2号	2 真庭市国民健康保険条例の一部改正（第1号）	15
専決第3号	3 真庭市介護保険条例の一部改正（第1号）	42
専決第4号	4 真庭市国民健康保険条例の一部改正（第2号）	46
専決第5号	5 真庭市後期高齢者医療に関する条例の一部改正（第1号）	52
専決第6号	6 真庭市「ふるさと産品」認定事業者の指定事項の変更（第1号）	56
議案第42号	7 令和2年度（2020年度）真庭市一般会計補正予算（第1号）	59
議案第43号	8 令和2年度（2020年度）真庭市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	60
議案第44号	9 令和2年度（2020年度）真庭市介護保険特別会計補正予算（第1号）	61

表紙のみ掲載しましたが、補整予算事務事業一覧表には、予算書のページ番号を表記しており、見やすい！

説明担当も説明しやすいと感じる。

**真庭市**

**地域産品送る送料  
商品代金3割負担**

「おもいやり事業」

真庭市は1日、新型コロナウイルス感染症予防対策として、「ふるさとへの帰省ができない市外の子どもらに真庭の地域産品を送る際、送料・商品代金の3割を負担する「真庭おもいやり事業」を始める」と発表した。8日開催の臨時市議会に関連する補正予算1500万円を上程。

市のふるさと納税に登録された商品の購入が対象。商品出品者に3000円、5000円など1万円を上限に送料込みで区切りのよい金額の詰め合わせをつくってもらい、送る側はそこから選んで金額の7割で購入できる仕組み。

これにより、市内食品製造などの経済支援、ふるさと納税産品の販売開拓などを見込んでいる。

山2020.5.8

休憩の間に数分程度ですが、市長の考えを聴かせてもらいました。

国の補正予算項目の中で、「地方創生臨時交付金事業」・「GoToキャンペーン事業」等については6月議会で予算計上の予定と考える

6月議会招集を5月下旬とされていますので、議会に報告の上、国に予算要求をするのではと受け取る。(個人的感想)

※市長登壇の際は、マスクを外しての説明であった。(距離は十分確保されている)

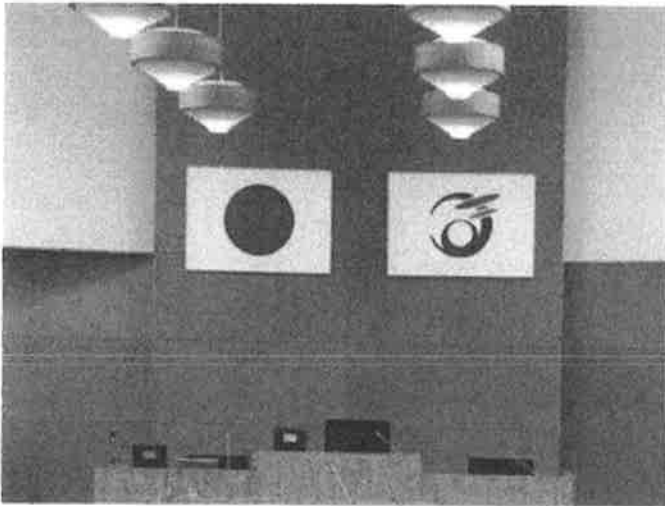
1時間ごとに、換気を目的として休憩10分と取る



# 出張報告書

津山市議会議員 安東伸昭

出張日	令和 2年 5月 28日
種別	■調査研究・視察 □要請・陳情 □研修会 □各種会議
出張先	真庭市議会 傍聴
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	6月定例議会
応対者／講師名	議会事務局及び柴田議員
目的	真庭市議会6月議会一般質問の内容を傍聴する。 傍聴者に配布される資料の取得
概要	一般質問の内容の資料が配布される 次ページに画像データを添付
得られた成果 施政への反映点 今後の課題点 など	一般質問の進行 ・最初の質問は質問席から行い、答弁者は登壇から答弁を行う。 副市長、教育長 ・質問時間は20分 ・質問通告は、下記の通りで、当初質問は、傍聴者にも配布され、各議員はタブレット端末を見ながら質問を聴く 事業のすべての人が、当初質問の内容を知った上で質問を聴くこととなります。 津山市と大きく違う点であり、私はこの方法が良いと考えている。 ・再質問は自席から行う。 ・一人の質問が終了後、換気の為10分程度の休憩を取る



質問者1・2の質問通告書(形式だけは確認できます)



谷本議員、柴田議員は先日津山市議会を訪れていただき、津山市の取組みを調査、研究して帰られました。

# 出張報告書

津山市議会議員 安東伸昭



出張日	令和2年 7月 20日
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	岡山市(岡山国際交流センター5階会議室(2))
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	地方議員特別セミナーin岡山
応対者／講師名	高 沖 秀 宣 氏 (三重県地方自治研究センター上席研究員)
目的	議員の資質向上と政務活動費活用策
概要	1 議員の資質向上の在り方 2「二元代表制」における議会活動 3 政務活動費の適正な使用 4 政務活動費を活用した政策立案の仕方
得られた成果 施政への反映点 今後の課題点 など	議会活動・議員活動を行う上で、特に重要な「議員の資質向上」と「政務活動費の活用策」について、基本的な事項から政策立案への活用策までを学ぶ。  議員に求められている資質  「専門性」  特定の分野に関する高い専門的知見を有していること。  地域の政策課題を的確に把握していること。  議会において政策提言・政策立案を行うこと。  合意を得るための調整能力をもつこと。

# 出張報告書

津山市議会議員 安東伸昭

出張日	令和2年 7月 29日
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	真庭市 真庭市鹿田(農業法人 寄江原圃場)
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	スマート農業技術の開発・実証プロジェクト現地実演会を見学
応対者／講師名	
目的	スマート農業技術の開発・実証プロジェクトの2年目の現地視察
概要	スマート農業機械の圃場での稼働状況の視察 新たな機械の試験運転
得られた成果 施政への反映点 今後の課題点 など	GPSの電波の影響を受け、直進性トラックの稼働が課題。 自動草刈り機械(試作品)雨に弱い。 無線操縦草刈り機は、生い茂った法面では弱点がある。  ドローンの活用は、さらに広がる可能性を感じる。

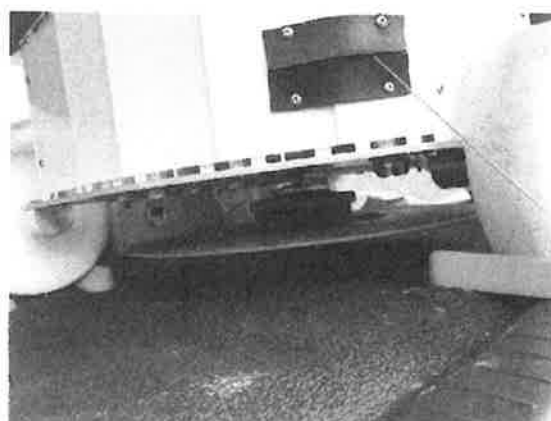
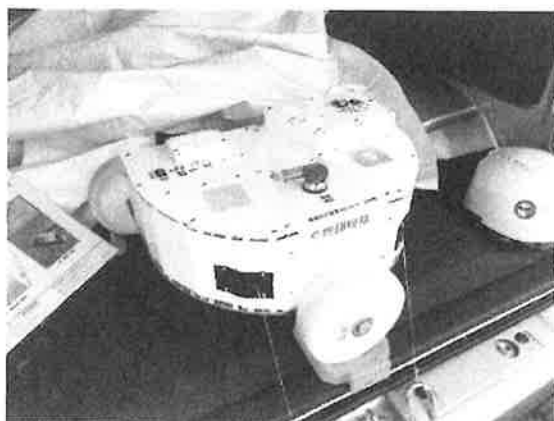




直進性トラクターは既存の機器にGPS付自動運転システムを追加設置したもの  
GPS電波の受信状況が大きく影響する。




試作の法面自動草刈り機



# 出張報告書

津山市議会議員 安東伸昭



出張日	令和2年 8月17日 ~ 令和2年 8月19日
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	全国市町村国際文化研修所(JIAM)
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	研修テーマ:市町村の森林施策
応対者/講師名	別紙添付 林野庁 森林集積推進室長 安高志穂氏 他
目的	平成31年4月に「森林経営管理法」が施行され、自治体では林業の成長産業化や森林資源の適切な管理の推進が重要となります。この研修では、森林管理における市町村の役割について理解し、これからの森林政策のあり方について考えます。
概要	2泊3日の研修で「森林施策」の講座とグループ討議をおこなう。 「森林経営管理法」の一端を知ることができました。
得られた成果 施政への反映点 今後の課題点 など	先行している県及び市町村の森林政策に取り組んでいる現状把握ができた。 森林環境譲与税の活用は、セミナー受講者の市町では、大半が基金に積み立てている。 

令和2年8月17日(月)

森林経営管理法と森林環境譲与税について

林野庁森林整備部 森林利用課 森林集積推進室長 安高 志穂 氏

昨年度からスタートした森林経営管理制度や譲与が始まった森林環境譲与税について、制度の仕組みや市町村における取組状況などについての講義でした。

森林管理における市町村の役割

東京農工大学 名誉教授 土屋 俊幸 氏

森林経営管理法の施行によって、今後地域における森林の経営管理に自治体が大きく関わることが求められます。この講義では、これまで自治体が抱えていた森林に関する課題や現状、また、今後の市町村における役割や森林政策のあり方について学ぶことができました。

令和2年8月18日(火)

事例紹介①

地域課題の解決に向けた森林政策の展開

栃木県県北環境森林事務所 所長 津布久 隆 氏

里山林管理に関する多くの知見をもとに、森林環境税、特に市町村森林経営管理事業により、これまで放置されていた森林から経済的な価値を生み出す秘訣についての講座を聴講しました。

事例紹介②

那賀町の取組

徳島県那賀町林業振興課 参事 橋本 浩志 氏

林業ビジネスセンターを設置し、町・県・森林組合等が連携して森林・林業情報を一元化するとともに、施業集約化や人材育成に取り組む那賀町の事例をご紹介でした。

事例紹介③

秩父市の取組

埼玉県秩父市環境部森づくり課 主席主幹 牧野 裕介 氏

全国で初めて森林経営管理制度を活用し私有林の整備に着手しているほか、人材育成や都市部の自治体と連携した森林整備・木材利用を進めている秩父市の取組についてご紹介いただきます。

演習 グループ討議／意見交換

受講者同士で各自治体の取組や課題を共有し、それぞれの自治体に合った効果的な施策や事業の実施方法について意見交換ができました。

※事例紹介②③、演習 コーディネーター:

栃木県県北環境森林事務所 所長 津布久 隆 氏

令和2年8月19日(水)

講義 地域における持続可能な森林政策

NPO法人自伐型林業推進協会 代表理事 中嶋 健造 氏

低コストで参入が容易な自伐型で、低材価の現在でも採算の取れる林業(施業手法)の開発と実践、さらに普及にも取り組んでこられたご経験についてご紹介いただくとともに、今後の持続的な森林経営のあり方や市町村に求められること等についてご講義いただきます。

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

所見

初期の目的である、森林環境譲与税の使い方について、他の市町村の動向を把握することができました。

津山市として、環境譲与税の使途について、ホームページ等での掲載方法について確認しておかなければならない。

行政の宿命と言えるが、専門知識を持った職員が森林政策を担当しているとは言えない現状がある。

森林資源は、大きな財産であり、今後の活用を適切に持続・継続していかなければならない。

林野庁、県の林務担当者を市町村が受け入れている市町は、林務政策が活発に推移していると感じた。



## 令和2年度「市町村の森林政策」時間割

(敬称略)

月日	曜日	1時限 (9:25-10:35)	2時限 (10:50-12:00)	3時限 (13:00-14:10)	4時限 (14:25-15:35)	5時限 (15:50-17:00)	課外 (17:00-)	
8/17	月		11:00-12:00 受付 11:30- 昼食  12:30- 開講・ 開講オリエンテーション 入寮オリエンテーション	<b>【講義】</b> 森林経営管理法と 森林環境譲与税について  林野庁森林整備部 森林利用課 森林集積推進室長 安高 志穂	<b>【講義】</b> 森林管理における市町村の役割  東京農工大学 名誉教授 土屋 俊幸	<b>【質疑・意見交換】</b>  東京農工大学 名誉教授 土屋 俊幸 林野庁森林整備部森林利用 課森林集積推進室長 安高 志穂	17:00- 意見交換 (任意参加)	
8/18	火	<b>【事例紹介①】</b> 地域課題の解決に向けた 森林政策の展開  栃木県県北環境森林事務所 所長 津布久 隆	<b>【事例紹介②】</b> 那賀町の取組  徳島県那賀町 林業振興課 参事 橋本 浩志 コーディネーター：栃木県県北環境森林事務所 所長 津布久 隆	<b>【事例紹介③】</b> 秩父市の取組  埼玉県秩父市環境部 森づくり課 主席主幹 牧野 裕介	<b>【演習】</b> グループ討議／意見交換  栃木県県北環境森林事務所 所長 津布久 隆			
8/19	水	<b>【講義】</b> 地域における持続可能な森林政策  NPO法人自伐型林業推進協会 代表理事 中嶋 健造		12:00-12:30 ふりかえり、研修アンケート記入、閉講  ※「受講証明書」の 再発行はできませんので紛失されないようご注意ください。				

◎日程は、都合により変更になる場合があります。

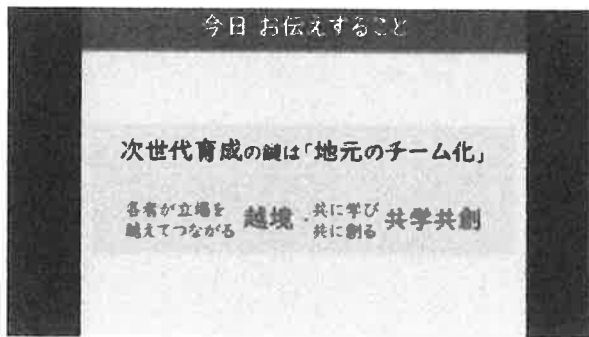
(令和2年7月16日現在)

研修担当：橋本、平野

# 出張報告書

津山市議会議員 安東伸昭



出張日	令和2年 9月 19 日
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	岡山市 山陽新聞さん太ホール
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	山陽新聞創刊140周年記念連続シンポジウム 「令和時代の地域をつくる」 「地域学のススメ」
応対者／講師名	浦崎太郎・大正大地域創生学部教授 他
目的	「次世代の育成は地元のチーム化から」 「地域学のススメ」
概要	総合司会は、津山東高校3年の渡邊さんが担当 連続シンポジウムの最終回として開催され、県北からも2名の方がシンポジストとして出席される。 松田欣也氏・津山商工会議所会頭 ・久常宏栄氏・津山東高主幹教諭
得られた成果 施政への反映点 今後の課題点 など	「次世代の育成は地元のチーム化から」 チームとは？ <a href="https://www.youtube.com/watch?time_continue=53&amp;v=rUIUWZiN5qg&amp;feature=emb_logo">https://www.youtube.com/watch?time_continue=53&amp;v=rUIUWZiN5qg&amp;feature=emb_logo</a>  <p>立場を超えて 一緒になって学びあって 一緒になって未来を創っ ていきましょうよ！</p>

山形新聞開刊140周年記念連続シンポジウム  
「令和時代の地域をつくる」

第5回 「地域学の又々式」



渡辺清香さん・津山東高校3年



浦崎太郎・大正大地域創生学部教授

### Society 2.0→4.0の移行例（北海道浦幌町）



東京の大手企業から社員を副業で迎えて地方創生

「多様化が進む情報化社会の中で、答えのない課題への対応力を学校内だけで身につけることはできなくなっている。

さまざまな人たちが立場を越え、連携することで、未来を担う子どもたちの進むべき道が見えてくる」と地域を挙げた人づくりの重要性を強調した。

### 高校生に対する意識・態度

#### ■ Society 2.0

- ・人は生まれ育った地で生きていくものだ。
- ・地域の担い手は地元出身者だ。
- ・進学や就職で外に出すな!
- ・長老の言うことを聞け!
- ・今まで通りのやり方に従え!
- ・勉強させるな! ・出たら帰ってこないから
- ・郷土愛を植え付けろ!
- ・外に出ても戻って来い!
- ・言うことを聞く者なら 外来者は歓迎!

### 高校生に対する意識・態度

#### ■ Society 4.0~

- ・生きる道は“三人寄れば文殊の知恵”だ。
- ・自分ならではの才能を存分に伸ばせ!
- ・最大限に成長&表現できる環境を選べ。
- ・才能をフルに活かせる場所で生きよ。
- ・専門性を高めて広い世界を渡り歩け!
- ・地元に戻ることは優先しなくてよい。
- ・この地で成長&表現したい若者は大歓迎!
- ・この地にある資源を活かして、  
何かを一緒に創り出している人物は大歓迎!



パネルディスカッション

- ・浦崎教授
- ・松田欣也氏・津山商工会議所会頭
- ・鍵本芳明氏・岡山県教育長
- ・久常宏栄氏・津山東高主幹教諭
- ・柏原拓史氏・NPO法人だっぴ代表理事  
司会・進行(モデレータ)
- ・石原達也氏・SDGsネットワークおかやま会長
- ・岡山一郎氏・山陽新聞社編集委員室長

**次は 第2部 パネルディスカッション**

**地域を担う人材づくり**

パネリスト			モデレーター	
 久常宏栄氏 津山東高主幹教諭	 松田欣也氏 津山商工会議所会頭	 鍵本芳明氏 岡山県教育長	 石原達也氏 SDGsネットワークおかやま会長	 柏原拓史氏 NPO法人だっぴ代表理事
 浦崎教授	 岡山一郎氏 山陽新聞社編集委員室長			

学校と地域が一体となった教育による人材づくりについて意見を交わした。

今回は、津山デーといった感じでした。

学校外の人々や魅力を知り、地元の課題解決を考える探究型の学習が人づくりにつながるとの考えで一

持続可能で活力ある地域の在り方を探ったシリーズを総括し「人やモノ、お金が外に出ていく流れを変え、地域循環型の共生社会を推進しよう」との提言をまとめ、岡山からの地方創生をアピールした。



# 出張報告書

津山市議会議員 安東伸昭

出張日	令和2年 10月 8日
種別	■調査研究・視察 □要請・陳情 □研修会 □各種会議
出張先	岡山県真庭市議会
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	真庭市議会第4回政策討論会 年1回の開催
応対者／講師名	真庭市議会事務局
目的	真庭市議会の政策討論会の内容及び討論過程について傍聴により確認する。
概要	令和2年度に3つの常任委員会でまとめられた、執行部に対する政策提言の内容について、全議員に説明を行い、提言書を市長に提出する。  令和3年度の予算編成への政策提言
得られた成果 施政への反映点 今後の課題点 など	議員は、議論し、政策提言をおこなうことが役割である。  常任委員会で協議し、執行部に政策提言する内容の確認ができた。  津山市議会でも、政策討論会の開催が必要と考えているので、議論の経過を活性化委員会で報告し、政策討論会の開催に向けた議論を進めて行かなければならない。



- 1) 会場は、本会議場  
議長、副議長、議会事務局は、左側正面に着座  
常任委員会の委員長他提言者は右側正面に着座  
議員は、自席に着座  
登壇席にプロジェクタースクリーンを配置し、パワーポイントで提言の説明を行う
- 2) 発表者の持ち時間は15分  
事前に、提言内容をまとめた資料を各議員にタブレットで配布されている。
- 3) 提言内容
  - 1)山紫水明 真庭の森づくり(産業建設常任委員会)
  - 2)防災計画の充実・強化について(総務常任委員会)
  - 3)地域における高齢者福祉施策のさらなる充実強化について(文教厚生常任委員会)
- 4) 発表の後、各議員から質問が行われ、委員長他提言者が回答する。  
質問の回数及び時間は設けてない。

5) 議論の経過

1)山紫水明 真庭の森づくり(産業建設常任委員会)

9:30開始、終結は11:00

結論は、常任委員会で再度検討し、10月27日の全員協議会へ再提出  
6名の議員から質問が出された。

ポイントは、新たな担当課を設ける内容が政策提言になじまないのでは！との議論

2)防災計画の充実・強化について(総務常任委員会)

11:00開始 終結12:10

前向きな質問が何件か出る。

結論は、全会一致で合意

3)地域における高齢者福祉施策のさらなる充実強化について(文教厚生常任委員会)

13:10開始 13:40終結

質問件数も少なく、全会一致で合意

合意形成については、挙手等による採決は無く、「異議なし」で決定

10月27日

## 防災、高齢者福祉提言へ 真庭市議会2案合意



真庭市議会は8日、議員発議による条例制定や執行部への提言を目的とする討論会を市役所で開いた。3常任委員会が示した各提言案の可否を全員で協議し、2案に合意、1案は内容を修正することを決めた。

テーマは、産業建設

委員が「真庭の森づくり」で、総務委が「防災計画の強化」、文教厚生委が「高齢者福祉の充実」。提案理由や政策内容について各委員長らが説明。総務、文教厚生委員は、全会一致で合意した。

総務委は、新型コロナウイルス感染症に配慮した各避難所の収容人数の把握と、収容できない人の避難先の確保を盛り込んだ個別避難計画作りを要求。自治会単位で世帯別の避難先調査を行う提案も示した。文教厚生委は、住民主体のデイサービスや体操を行う空き家の確保と運営への助成、コミュニティバスやの停留所までの移動支援を掲げた。

一方、針葉樹林から広葉樹との混交林への転換などに向けて市林業・バイオマス産業課を分課するという産業建設委の提言は、具体的な政策を示すべきだなどの面が相次ぎ、修正して27日の全員協議会で再提示することになった。

討論会は、議会改革の一環として毎年度開かれ4回目。広葉樹をバイオマス発電燃料に活用するための森林作業道の整備費補助や、障がい者支援推進室の開設といった障害者の自立支援策の一部が実現している。

(小畑誠)

各常任委の提言案の可否を協議する真庭市議

## 平成元年度の政策討論会



### 私見

期数の長い議員が持論を展開して、時間を多く取ってしまう傾向が見受けられる。

提言資料の作成に当たっては、十分な調査研究を行っているように感じる

特に、3) 地域における高齢者福祉施策のさらなる充実強化について(文教厚生常任委員会)は、担当部の協力が無いと策定出来ないような内容と受け止められた。

注目したのは、1) 山紫水明(さんしすいめい) 真庭の森づくり(産業建設常任委員会)でしたが、結論としては、修正し、10月27日の全員協議会での再議論となる。

令和 2年 10月 29日

# 出張報告書

津山市議会議員 安東伸昭

出張日	令和2年 10月28日 ~ 令和 2年 10月 29日
種別	■調査研究・視察 □要請・陳情 □研修会 □各種会議
出張先	笠岡諸島(北木島・真鍋島)、丸亀城
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	笠岡諸島の観光と公共交通の調査 丸亀城の石積み調査
応対者／講師名	笠岡市役所北木島主張所 大岸憲司主査 笠岡市役所真鍋島出張所 佐藤幸治主査、真鍋島中学校 小橋校長 丸亀市 議会事務局 高橋幸見主査 丸亀市 教育部文化財保存活用課 七座武史課長、東 信男副課長 丸亀市 教育部文化財保存活用課 丸亀城管理室 上甲 育司室長
目的	笠岡諸島(北木島・真鍋島) グリーンスローモビリティ活用実証の島及び観光地としての取組について現地視察  丸亀城 石積み崩落事故と今後の対応について
概要	北木島 グリーンスローモビリティ活用実証調査の結果を踏まえ現地をレンタル自転車にて、実査する。  観光地の一つである、北木石の丁場を見学(¥1000)  北木小学校(廃校跡)の活用状況を視察  <a href="http://www.city.kasaoka.okayama.jp/soshiki/0/22876.html">http://www.city.kasaoka.okayama.jp/soshiki/0/22876.html</a>  真鍋島 阿波地区との交流経緯を踏まえ、現地の視察を行う。  交流の再開をめざし、現地の状況を確認する。  丸亀市 丸亀城の石積み崩落現場の視察  教育部文化財保存活用課の担当者から説明を聴取する。

得られた成果  
施政への反映点  
今後の課題点  
など

## 北木島

石材事業に頼ってきた島であり、その他の事業をなおざりにすると、街の復活に向けては、対応は大きなエネルギーが必要となる。

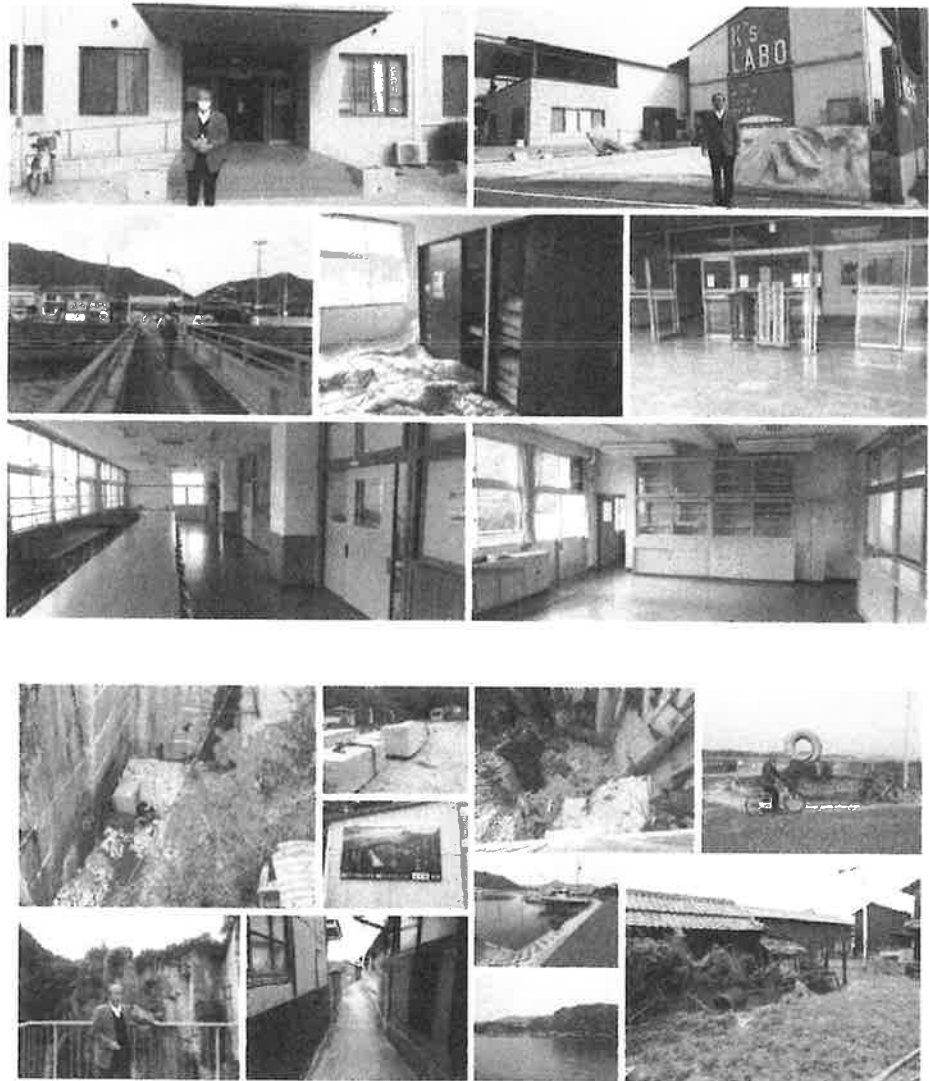
繁栄時には260余りあった石材事業も現在は、2ヶ所となり、街並みは、廃虚が目につく。

少子化、高齢化が進み2校ある小学校は1校で児童数は8人

中学校は、令和2年から休校となっている。

島の産業である、漁業を生かした海洋学習の場として、廃校となった、北木島小学校を活用して、修学旅行や海の学習の場として活用している。

将来を見越した対策を講じなかったことが、現状の姿となっている。



北木島に渡った観光客は、自転車か徒歩となる。

得られた成果  
施政への反映点  
今後の課題点  
など

### 真鍋島

にはほんの里百選の島です。

阿波地域も選定されています。

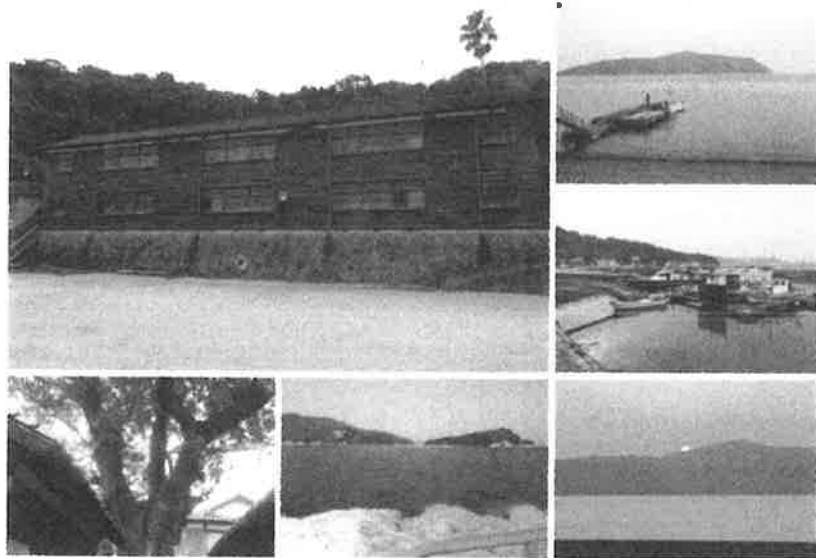
<http://www.sato100.com/gaiyo/index.html>

児童、生徒が学校生活での思い出づくりの一つが、海事研修、修学旅行であります。

コロナ禍の中で、縮小、中止となってしまいました。

過去からのつながりを大切に、津山市の児童生徒が共通した校外学習の拠点地を定めておくことは重要だと考え、阿波地域の児童が培ってきた交流の場を復活させて必要があると考え、現地を訪れる。

子どもの数も少なくなり、学校の統廃合が進められる時期になっており、津山市と笠岡市があらたな連携を結ぶことを提案したい。



## 丸亀城の石積み崩落から学ぶ

得られた成果  
施政への反映点  
今後の課題点  
など

安東伸昭ブログアドレス

<https://blog.goo.ne.jp/nobunobu5220141001/e/e9bee8dd4106768a68d4ed1f56cb488e>

平成30年7月7日 台風24号の雨により丸亀城の石積みが崩落し、さらに上部の石積みも崩落する。



写真左が一度目の崩落  
写真右が二度目の崩落



予定工事費 35億円  
崩落前に工事を行っておけば  
14億円

丸亀城では2018年の西日本豪雨や台風の影響で南西にある石垣が崩落し、約6000個の石が被害を受けました。

市は崩落から5年後の2023年度末を目指し復旧を進めていますが、完成が半年ほど遅れる見込みとなりました。

斜面が想定よりもろく安定させる工事が必要になったことや斜面から見つかった古い石垣の取り扱いに時間がかかったことが主な要因です。

さらに新型コロナによるテレワークなどで業者の工事の設計作業に遅れが出たことも響きました。

2020. 8. 25 OHKニュース



今回の三の丸石垣の解体は高さ約15メートルの石垣を6段(幅約2~10メートル)に分け、上部の段から順に石をクレーンでつり上げ、回収した石を並べている旧城内グラウンドに下ろす。

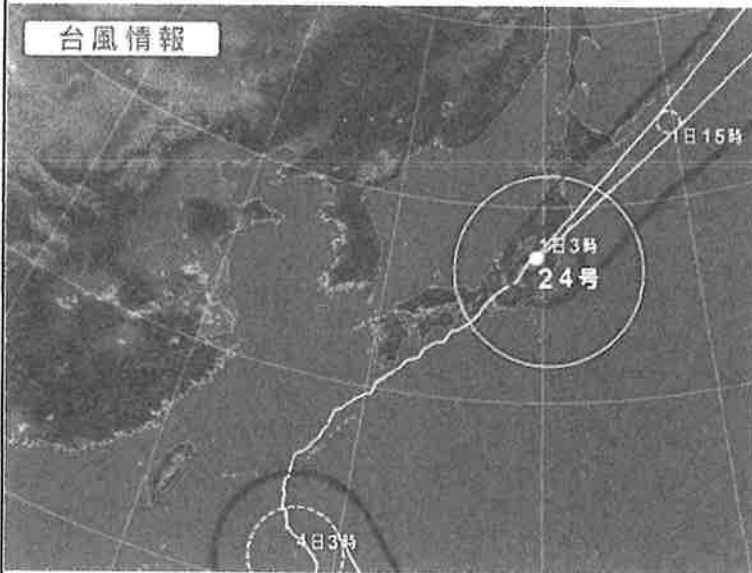
併せて解体後の斜面や、現在モルタルを吹き付けて保全している崩落した斜面の安定性を高めるため、斜面上に受圧板(2メートル四方)を51枚設置してアンカーを打ち込む工事を行う。

この日の解体工事では、市職員や施工業者が石垣の積み直し時に必要な記録を取りながら、重さ1トンほどの石を約40メートル下の同グラウンドまでクレーンで慎重に下ろした。

三の丸石垣の解体と斜面の安定化工事に続き、崩れ落ちた石の回収や帯曲輪石垣の解体を20年度末までに実施する。その後、21年度末までに帯曲輪石垣の積み直し、23年度末までに三の丸石垣の積み直しを行い、復旧工事を完成させることを目標にしている。



2020. 2. 1四国新聞



平成30年9月の台風24号は津山市でも影響がある。

勝北地域では、台風の影響により広戸風が吹き荒れ、最大瞬間風速40.6mを記録する。

丸亀市 教育部文化財保存活用課 七座武史課長、東 信男副課長、丸亀城管理室 上甲 育司室長より、先ず現地の状況の説明を受けた後、丸亀城の概要及び石積み崩落の復旧作業について説明を聴取する

石積み崩落現場の上部(三の丸)は、崩落の危険性があり、文化庁と協議を進め、積替えの作業に入る計画であったが、二の丸の石積みも崩落の危険性があると判断し、「伸縮計」を設置して調査を行っていた矢先の崩落となった。

#### 事前質問

- 1.石垣の崩落の予兆はあったのか
- 2.石垣崩落の原因
- 3.募金の状況
- 4.復旧の課題
- 5.復旧のスケジュールと進捗状況
- 6.復旧工事中の発見事項

事前質問に対して解りやすい資料を作成していただいていたいました。

崩落の兆候は、石垣の孕み出し(はらみ)、石割れのを確認していた。

三の丸上部のクラックも確認できていた。

崩落ヶ所は過去にも積み替えるの記録が残っている。

※雨水排水のルートとなっている。

以下別紙に添付いたします。





令和2年 11月28日

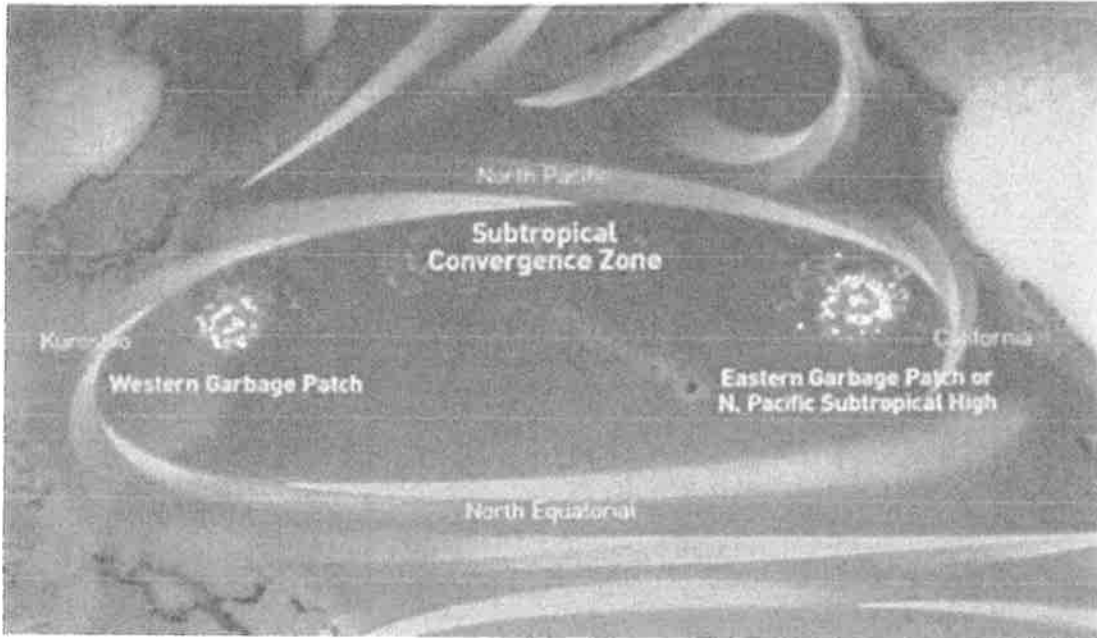
# 出張報告書

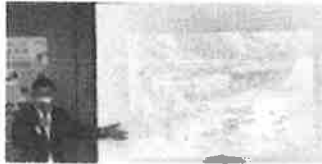
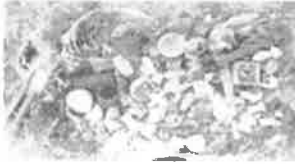
津山市議会議員 安東伸昭

出張日	令和2年 11月28日
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	真庭市北房文化センター
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	研修会 「未来のために知っておきたい海とプラスチックの話」
応対者／講師名	岡山県美作県民局
目的	「未来のために知っておきたい海とプラスチックの話」 大阪商業大学 准教授 原田 禎夫 氏
概要	11月8日の「瀬戸内海 海ごみフォーラム in おかやま」をオンラインで聴講しましたが、 直接「原田 禎夫教授」の話しを聴きたく聴講しました。
得られた成果 施政への反映点 今後の課題点 など	改めて、プラスチックごみの対応を考えていかなければなりません。 海鳥のお腹の中の内容物を画像で観て、ショックです。

太平洋ゴミベルト

太平洋ゴミベルト (Great Pacific Garbage Patch)





## プラ肥料殻大量蓄積

岡山県南河内郡の農家は、農薬用のプラスチック肥料殻を大量に蓄積している。この肥料殻は、農薬の残留物を含んでいるため、環境への悪影響を懸念されている。農家は、この肥料殻を適切に処理する方法を模索している。

**岡山県南河内郡**

岡山県南河内郡の農家は、農薬用のプラスチック肥料殻を大量に蓄積している。この肥料殻は、農薬の残留物を含んでいるため、環境への悪影響を懸念されている。農家は、この肥料殻を適切に処理する方法を模索している。

### 農薬用、広く普及 水田から流出

農薬用のプラスチック肥料殻は、水田から流出し、環境汚染の原因となっている。農家は、この肥料殻を適切に処理する方法を模索している。



農薬用のプラスチック肥料殻は、水田から流出し、環境汚染の原因となっている。農家は、この肥料殻を適切に処理する方法を模索している。

## 環境への悪影響懸念



岡山県南河内郡の農家は、農薬用のプラスチック肥料殻を大量に蓄積している。この肥料殻は、農薬の残留物を含んでいるため、環境への悪影響を懸念されている。農家は、この肥料殻を適切に処理する方法を模索している。



農薬用のプラスチック肥料殻は、水田から流出し、環境汚染の原因となっている。農家は、この肥料殻を適切に処理する方法を模索している。

### 農家に注意喚起課題

農薬用のプラスチック肥料殻は、水田から流出し、環境汚染の原因となっている。農家は、この肥料殻を適切に処理する方法を模索している。

**岡山県南河内郡 プラ肥料殻蓄積**

自宅に帰ってテレビを見ると「中国のプラゴミ」の報道  
日本国民全員で考えていかなければならない大きな課題です。



# 出張報告書

津山市議会議員 安東伸昭



出張日	令和 2年 11月 28日
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	真庭市 旧遷喬尋常小学校校
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	「儲かる林業を実現する会」第1回岡山懇話会
応対者／講師名	大貫 肇氏 物林株式会社 新事業推進部長 山田 壽夫(やまだ ひさお)氏 一般社団法人全国木材検査・研究協会 理事長
目的	「儲かる林業を実現する会」 第1回岡山懇話会 儲かる林業施策について学習することを目的とする
概要	林業関係者が多く参加されました。 森林・林業に関する提言がまとめられましたが、ここからのスタートです。
得られた成果 施政への反映点 今後の課題点 など	かつてない人口減少と低成長社会の中で林業施策をどう進めるかが大きな課題です。  講師の皆さんは、元林野庁職員として活動され、現在は地元に戻り林業に従事されています。  残念ながら、「肝」の部分は聞くことができませんでした。



## 講演1

「儲かる林業実現に向けて」

物林株式会社 新事業推進部長

大貫 肇氏

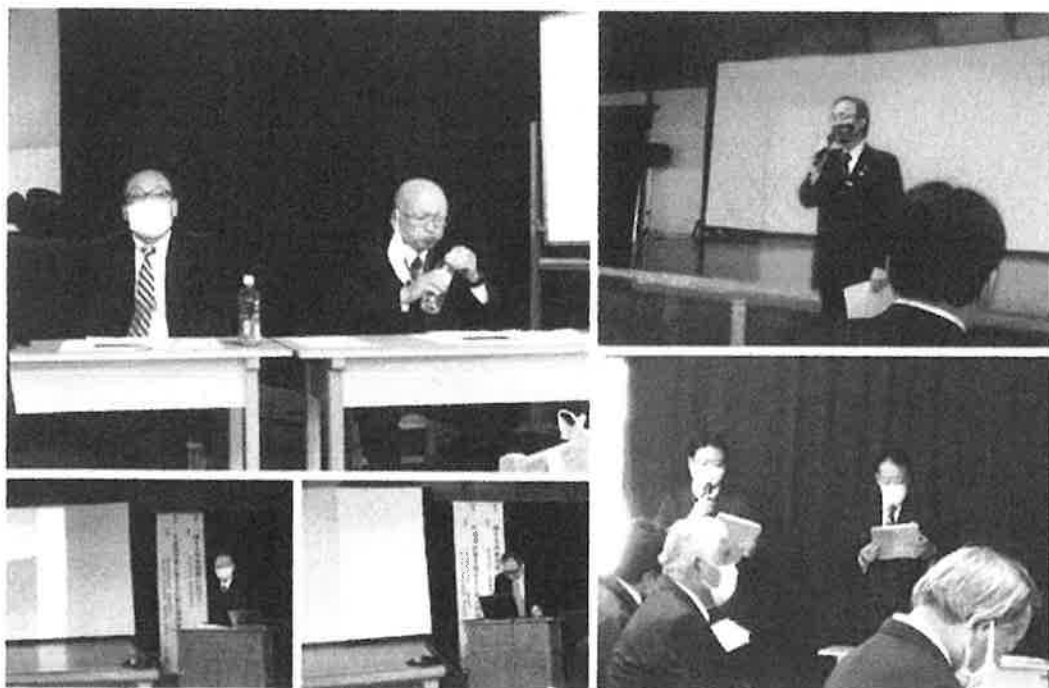
## 講演2

「先進国林業を踏まえた我が国の現状と展望」

木構造振興株式会社 代表取締役

一般社団法人全国木材検査・研究協会 理事長

山田 壽夫(やまだ ひさお)氏



岡山県北の林業関係者が聴講していました。



所見

着実に一步ずつ前進することが必要である。

キノマチ会議を通して、さまざまな取組が紹介されています。

森林・林業を生業とするための方策を地域毎に検討する必要があると感じた。

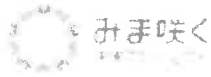
		今までの百年	これからの百年
社会		かつてない人口増加と 経済成長	かつてない人口減少と 安定(低)成長
		資源消費型社会 物の量かさ (ストックアップ・アランド・ビルド)	持続循環型社会 価値観の多様化 (ストックを防がして量かさを受容)
森林 林業		成長力を越える伐採と拡大造林 その後 公益的機能に重点を置いた (極端な)森林管理	合自然的であり 経済合理性のある バランスが取れた森林管理
		木材が化石資源由来の原材料に 置き換わった時代	我が国に豊富に賦存し再生可能である 資源「木材」を高効率活用する時代 再木質化の時代

令和2年 12月5日

# 出張報告書

津山市議会議員 安東伸昭

出張日	令和2年 12月5日
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	岡山県真庭市勝山文化センター
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	研修会 みま咲未来フォーラムin真庭
応対者／講師名	岡山県美作県民局
目的	みま咲未来フォーラムin真庭の内容を確認 令和1年度より県北の市町村で順番で開催されています。
概要	高校生や大学生をはじめ広く地域の若者や企業・団体関係者等の参加を募り、フォーラムが開催される。 トークセッション終了後には、参加者の交流を深めるため、やまびこ大交流会を開催します。
得られた成果 施政への反映点 今後の課題点 など	岡山県北の学生、若者が相互に結びあい、地域をよりよくしようと頑張っている様子を聴講することができました。  YouTube によるライブ配信も行います。  <a href="https://www.youtube.com/watch?v=pNUUzAvZld0&amp;t=412s">https://www.youtube.com/watch?v=pNUUzAvZld0&amp;t=412s</a>



みま咲く

新時代のみまさかへ

地域と未来を創る。

みま咲く未来フォーラム2020 in 真庭

会 場:勝山文化センター(真庭市勝山319)

募集定員 250名(会場席数の3分の1程度)

対 象 高校生や大学生をはじめ広く地域の若者や企業・団体関係者等

主 催:岡山県美作県民局

共 催:真庭市

主 管:(株)山陽新聞社

内 容

13:00~13:10 開会

13:10~13:25 取組紹介

松尾 敏正 氏 (一社)コミュニティデザイン代表理事【真庭市】

13:25~14:15 第1部トークセッション ~若い世代が考える~

テーマ「魅力的な地域の未来を創る」

・ファシリテーター

松尾 敏正 氏 (一社)コミュニティデザイン代表理事【真庭市】

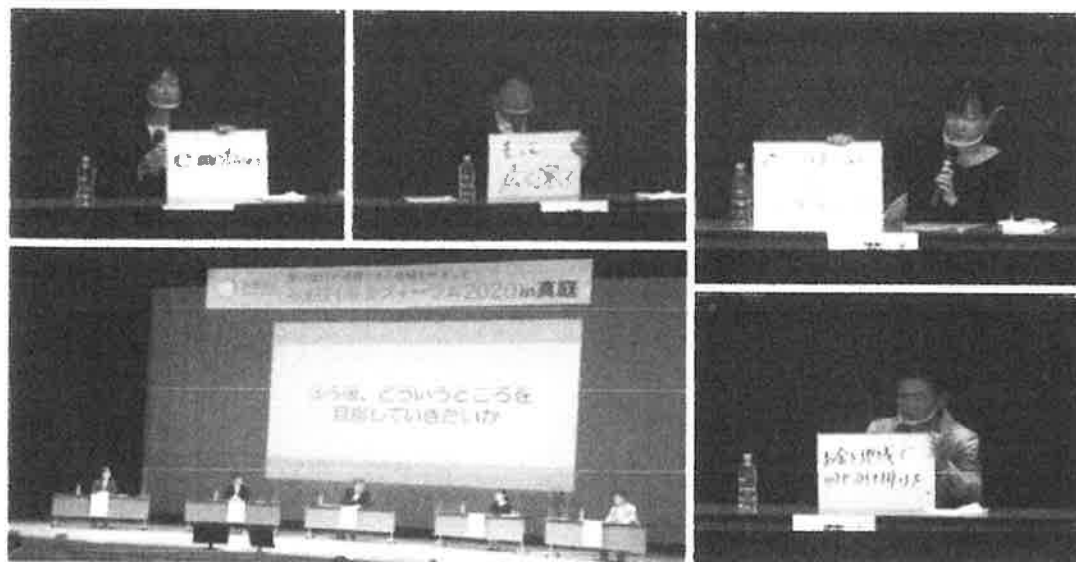
・パネリスト

福寺 航大 氏 Kagamino Youth Circle 代表【鏡野町】

花房紗也香 氏 画家【奈義町】

岡本 千絵 氏 (株)パドック代表取締役【津山市】

藤田 亮太 氏 leal.lab 代表【真庭市】



14:15～15:15

第2部 トークセッション ～若い世代をアシストする立場で考える～

テーマ「地域の活力をどう見出していくか」

・ファシリテーター 鶴崎 実 氏 美作大学学長

・パネリスト

太田 昇 氏 真庭市長

松岡 裕司 氏 津山信用金庫理事長

佐山 修一 氏 オーティス(株)創業者

久常 宏栄 氏 津山東高校教諭



15:15～15:45 休憩

15:45～17:30 やまびこ大交流会

地域資源などを生かして活動をしている若手の事業者・団体がブースを出展、  
活動紹介や物品販売等を通じて、参加者の交流を深めます。

新型コロナウイルス対策のため、飲食中止、会話はソーシャルディスタンスを確保した上で開催

みま咲く未来  
フォーラム2020 in 真庭

「地域とつながる。未来を創る。」

みま咲く未来  
フォーラム2020 in 真庭

12月5日(土) 13:00～15:15  
勝山文化センター ポンテホール

250円  
参加費

やまびこ  
大交流会  
15:45～17:30  
勝山文化センター  
1F・新1会議室

YouTube  
ライブ配信  
実施!

若い世代が活躍できる地域をめざして

「魅力的な地域の未来を創る」

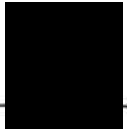
「地域の魅力をどう発信していくか」

やまびこ大交流会

086-271-5181

# 出張報告書

津山市議会議員 安東伸昭



出張日	令和 2年 12月27日
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	岡山県立美術館
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	津山東中学校の「みんなの参観日」展示物鑑賞
応対者／講師名	特になし
目的	津山東中学校のコロナ禍での学校授業の取組をアート作品で表現 生徒の「津山愛！」を作品を通して確認することを目的とした。
概要	企画書作りは新型コロナ感染拡大を受け、美術教諭の谷元裕治さん(51)が発案。 美術で学んだ想像力を生かして津山を応援する何かを創り出してもらおうと、臨時休校が明けた5月中旬にスタートした。
得られた成果 施政への反映点 今後の課題点 など	県立美術館の企画展「みんなの参観日」の呼びかけに応じた担当の先生及び学校関係者に敬意を表したい。 作品を通して生徒の皆さんの「津山愛！」を感じることができました。  課題  各種催しの案内に対して、学校として取り組む姿勢、思いの共有化

岡山県立美術館主催の「みんなの参観日」は、前期と後期の2回実施されます。

津山東中学校は、前期の部で展示されました。

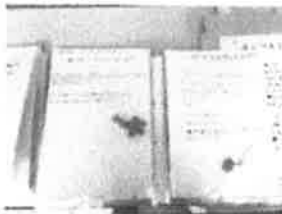
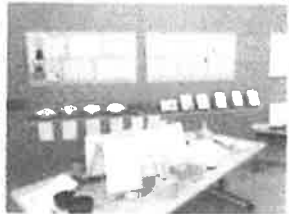
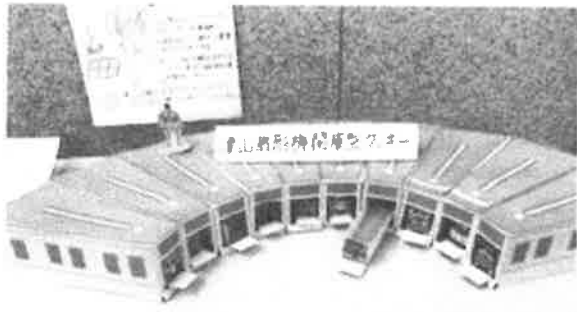
会場の1/3のスペースが津山東中学校が占めていました。すごいという印象を受けました。

作品の中には、実現したい内容もありました。

何とか後押しできればと考えます。







豊山町立形代原小学校 豊山町立形代原中学校

# みんなの 参観日

観覧  
無料

豊山町立形代原小学校  
豊山町立形代原中学校

よりよい学校づくりを目指して、子どもたちの  
成長を応援するために、保護者の方の参観日を  
実施いたします。ご来校いただき、学校生活の様子  
や授業の様子などについて、ご質問やご意見を伺い  
たいです。

前期  
2020年12月13日(日)  
～  
12月27日(日)  
参加校  
豊敷市立庄小学校、豊敷市立  
二万小学校、稲賀町立和氣中  
学校、津山市立津山東中学校

後期  
2021年1月10日(日)  
～  
1月24日(日)  
参加校  
新見市立西条小学校、沼津市立立  
中中学校、津山市立西条中  
学校、津山市立西条中学校、五野市  
立宇野中学校、豊敷市立南中学校

# みんなの 参観日

観覧  
無料

図工の時間・美術の時間  
— 子どもの学び —

みんなが小学校の授業でしている「図工の時間」、  
みんなが中学校の授業でしている「美術の時間」を、  
みんなが参観することができる教育普及展——それが、  
みんなの参観日「図工の時間・美術の時間—子どもの学び—」です。

前期

2020年12月13日(日)  
～  
12月27日(日)

参加校

倉敷市立庄小学校、倉敷市立  
二万小学校、和気町立和気中  
学校、津山市立津山東中学校

後期

2021年1月10日(日)  
～  
1月24日(日)

参加校

新見市立西方小学校、瀬戸内市立  
牛窓中学校、瀬戸内市立邑久中  
学校、瀬戸内市立長船中学校、玉野市  
立宇野中学校、倉敷市立南中学校

開館時間 | 9:00～17:00 ※入館は閉館の30分前まで、12月25日(金)は19:00まで開館。

休館日 | 月曜日(祝日の場合は翌日) 会場 | 岡山県立美術館 屋内広場

主催 | 岡山県小学校教育研究会図画工作部会、岡山県中学校教育研究会美術部会、岡山県立美術館

後援 | 岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、和気町教育委員会、瀬戸内市教育委員会、玉野市教育委員会、倉敷市教育委員会、新見市教育委員会、津山市教育委員会

\*新型コロナウイルス感染拡大の影響で会期や内容が変更になることがあります。ホームページで最新情報をご確認ください。

今、図工の時間で学んでいる小学生、  
 今、美術の時間で学んでいる中学生、  
 未来の小学生や中学生であるちびっこ、  
 かつて小学生・中学生だった高校生・大学生(未来の先生であり、未来の保護者であり、未来の社会人)、  
 そして、社会人のみなさん、保護者のみなさん、おじいちゃん、おばあちゃん、先生  
 ——《みんなの参観日》です。

岡山県小学校教育研究会図画工作部会、岡山県中学校教育研究会美術部会と岡山県立美術館は、昨年に引き続き第2回《みんなの参観日「図工の時間・美術館の時間—子どもの学び—」》を開催します。本年度は、県内小学校3校、中学校7校が参加します。

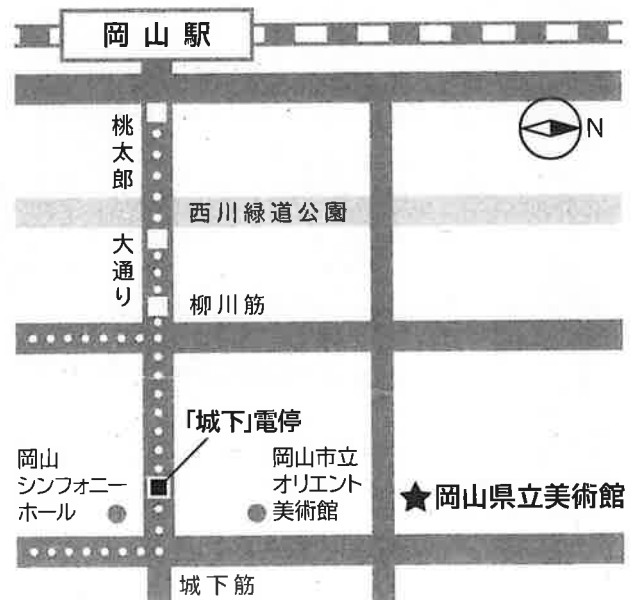
《みんなの参観日》は、「図工の時間・美術の時間」の中で大切にされている子どもの思いや主題、そして先生の支援や子ども同士の関わりを切り口とした「子どもの学び」を美術館に展示して、大勢の人々がそれを参観する場です。現在の図工や美術の時間における子どもの学びを、地域や社会に知ってもらう機会になれば——、そして、同じ時代に図工や美術の時間で学んでいる子どもたちが参観することで、同じ世代の多様な表現や考え方を知る機会になれば——と考えています。

#### 関連イベント

会期中土日祝日は、ワークショップやトークなどを開催予定です。また、後期展示期間中、「夢二の和傘アートライト」(瀬戸内市立邑久中学校)は、夢二郷土美術館本館でも展示されます。

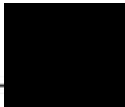
#### 交通案内

JR岡山駅後楽園口(東口)より  
 徒歩:約15分/路面電車:東山行「城下」下車徒歩3分  
 岡電バス:藤原団地行「美術館前」下車すぐ  
 宇野バス:岡山後楽園バス「岡山県立美術館」下車すぐ  
 ※ご来館の際はできる限り公共交通機関をご利用ください。



# 出張報告書

津山市議会議員 安東伸昭



出張日	令和3年 1月13日 ~ 1月 14日
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	全国市町村国際文化研修所(JIAM)
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	研修会 人口減少を前提とした これからの自治体経営
応対者／講師名	JIAM研修担当:森本氏、竹村氏(地方自治体から派遣)
目的	人口減少問題が全国の多くの自治体の主要な課題となっています。  本研修では、自治体経営を左右する人口減少問題について理解し、人口が減少しても住民が満足して暮らせるまちづくりを目指し、どのように自治体を経営していくか、講義や事例紹介を通して学び、地域の実情に応じた適切な手法を考えます。
概要	1月13日 11:00受付 13:00~17:00 講義 19:00の意見交換会 1月14日 9:25~17:00 事例紹介、講義、演習 1月15日 9:25~12:30 講義 振り返り事例紹介、講義、演習～
得られた成果 施政への反映点 今後の課題点 など	1) 人口減少が自治体にもたらす影響、課題等について理解し、人口が減少しても円滑に自治体を経営できる方法について考える。  2) 講義や事例を通して、様々な手法や考え方を学び、それぞれの地域の実情に応じた手法をいかにして選択しながら、自治体を経営していくのかについて考える。  3) 意見交換等を通して、人口減少時代に必要な自治体の取組等について情報を共有し、共に考える。  三条市の自治体DXの取組は、大変参考になりました。機会を設けて、先進的事例研究の視察先として検討したい。



1月13日 12:30～ 開講・オリエンテーション

13:00～14:40 講義

人口減少を前提とした自治体経営

大阪大学大学院法学研究科 教授 北村 亘 氏

人口減少が自治体経営にもたらす影響等についてお話いただき、これからの自治体経営に必要な考え方などについて理解を深めます。

14:55～17:30 講義 自治体資産の管理運営とPPP手法

～PFI、コンセッション方式、指定管理者制度～

大阪市立大学大学院都市経営研究科 教授 佐野 修久 氏

将来にわたって活力ある地域経営を行うためには、総合的な公共施設等の管理運営が求められており、各地で推進されているところです。

この時間では、PPPの活用など、自治体経営に必要な手法や制度についてご講義いただき、理解を深めます。

18:00～ 交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

1月14日(木)

9:25～10:35 事例紹介

情報システム共同化等の取組 新潟県三条市情報管理課 課長 山澤 浩幸 氏  
自治体クラウドを構築し、ほぼ全ての基礎的な行政システムの共同化を実現され、  
マイナンバーカードによる新たな住民サービスを進められています。

導入の経緯や今後の持続可能な行政サービス実現に向けた展開についてご紹介  
いただきます。

令和2年12月1日現在

新潟県三条市 人口97,068 発行数 19,130 人口比率 19.7%

岡山県津山市 人口100,669 発行数18,200 人口比率 18.1%

[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000723319.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000723319.pdf)

10:50～12:00 事例紹介

横瀬町官民連携プラットフォーム「よこらぼ」について

埼玉県横瀬町まち経営課 主査 勝間田 幸太 氏

「日本一チャレンジする町」として、民間のアイデアと資源を活用して地域の活性化  
を図る「よこらぼ」に取り組まれています。

シェアリングエコノミーの事例や、JICA(国際協力機構)との連携も踏まえてご紹介  
いただきます。

13:00～14:30 講義

これからの自治体経営について考える

～多様な主体との連携～

明治大学経営学部公共経営学科 教授 菊地 端夫 氏

人口減少社会における課題を解決していくための手法のひとつとして、地域や企  
業との連携、自治体間の連携 等、様々な主体との連携が考えられます。

これからの自治体経営において、連携の可能性や効果的な進め方等につい  
て、事例を交えながらご講義いただきます。

14:50～17:00 演習

これからの自治体経営について考える(意見交換)

明治大学経営学部公共経営学科 教授 菊地 端夫 氏

前日からの講義、事例紹介などを踏まえ、各受講者が持ち寄った地域の課題な  
どについて、小グループで意見交換します。

それらを全体で共有し、これからの自治体経営において必要な考え方や取組な  
どについて理解を深めます。

1月 15日(金)

9:25～12:00 講義

人口減が地方を強くする

株式会社日本総合研究所 調査部 上席主任研究員 藤波 匠 氏

人口が減っても、地方は豊かな暮らしの場を築くことができるはずです。

人口減を受け入れたうえで地方が進むべき方向性について、新型コロナウイルスの感染拡大の影響も含めてお話しいたします。

12:00～12:30

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

※1月15日に、議会活性化調査特別委員会が開催するため、残念ですが、早退させていただきました。



コロナ対策として、意見交換会は講義室に夕食の弁当を食べながらの開催となりました。

令和2年度 政策・実務研修「人口減少を前提としたこれからの自治体経営」

(敬称略)

月日	曜日	1時限 (9:25-10:35)	2時限 (10:50-12:00)	3時限 (13:00-14:10)	4時限 (14:25-15:35)	5時限 (15:50-17:00)	課外 (17:00-)
1/13	水		11:00-12:00 受付 11:30- 昼食  12:30- 開講・ 開講オリエンテーション 入寮オリエンテーション	【講義】(13:00-14:40) 人口減少を前提とした 自治体経営  大阪大学大学院法学研究科 教授 北村 亘		【講義】 (14:55-17:30、途中15分休憩有り) 自治体資産の管理運営とPPP手法 ～PFI、コンセッション方式、 指定管理者制度～ 大阪市立大学大学院都市経営研究科 教授 佐野 修久	17:30- 意見交換会 19:00- 交流会
1/14	木	【事例紹介】 情報システム共同化等 の取組  新潟県三条市 情報管理課 課長 山澤 浩幸	【事例紹介】 横瀬町官民連携 プラットフォーム 「よこらぼ」について 埼玉県横瀬町 まち経営課 主査 勝間田 幸太	【講義】(13:00-14:30) これからの自治体経営について 考える ～多様な主体との連携～  明治大学経営学部公共経営学科 教授 菊地 端夫	【演習】 (14:50-17:00、途中10分休憩) これからの自治体経営について考え る(意見交換)		
1/15	金	【講義】 人口減が地方を強くする  株式会社日本総合研究所 調査部 上席主任研究員 藤波 匠		12:00-12:30 ふりかえり、研修アンケート記入、閉講  ※「受講証明書」の再発行はできませんので 紛失されないようご注意ください。			

◎日程は、都合により変更になる場合があります。

(令和2年12月4日現在)

名札の色：

研修担当：森本和、竹村



# 出張報告書

津山市議会議員 安東伸昭



出張日	令和3年 2月 9日
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	岡山県真庭市
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	調査研究 真庭市円卓会議
応対者／講師名	真庭市議会事務局
目的	真庭市がSDGsの取組んでいる円卓会議の様子を確認し、 SDGsの取組を確認する。
概要	会場:久世江スパ大ホール 開催時刻:18:00～20:00
得られた成果 施政への反映点 今後の課題点 など	真庭市のSDGsの取組を企業、行政、学生が一体となって取り組んでいます。 一方、津山市として、SDGsの取り組みは見える化できていません。  成果報告の様子を確認し、市民と共にSDGsの取組を拡散していかなければならないと感じる

# 令和2年度 真庭SDGs 円卓会議

「草の根的なSDGsの動きをつくる」

令和3年 2月9日(火)  
18:00～20:00

場所: エスバスホール / 参加: 無料  
(真庭市主催17-1)

◎ 事例紹介  
十字屋グループ、服部興業株式会社  
佐藤園芸、真庭学習塾

◎ パネルディスカッション  
ファシリテーター: 真庭市長 太田昇  
パネラー: 事例紹介者 + 大月会長 (真庭市総合計画審議会)

◎ SDGsアクション宣言

MITサブチャンネル  
YouTube  
にて同時生配信!  
当日、YouTube真庭市公式  
チャンネルAにアップします

新型コロナウイルス対策として、マスク着用と消毒・換気にご協力ください。

おみやげSDGsギフト2020受賞

十字屋グループ  
グループ全体を通じて、親子連れを中心に環境保全  
意識醸成の取組を進めるなどSDGsを推進し、また  
信譽園芸  
農業従事者への交流を促進し新たなつながりを構築した  
り、障がい者雇用、安心・安全に取り組むなど様々なSDGsの取  
組を実施し、幅広い取り組みを進めています。

服部興業株式会社  
全従業員がSDGsを自分ごととして捉え、一人ひとりが責任を  
感じ、活動目標を定めて取り組んでいます。

真庭学習塾  
子どもが好きな地域に貢献したいと、真庭市にはる学習塾です。  
一文字は真庭市に在り、活動には真庭市を舞台として参加  
すること、市民に良い影響がなれることを目指しています。

参加申込方法  
真庭市総合政策課へ参加申込書によりお申し込みください。  
※参加人数: 200名、応募定数: 申し込みは締め切りました。

お問合せ・申し込み  
真庭市総合政策課 真庭市久世2927-2  
【TEL】0867-42-1169 【FAX】0867-42-1363  
【MAIL】suspos@city.manawa.jp

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
世界をよりよくするための17の目標



内容:

(1)事例紹介

十字屋グループ、服部興業株式会社、佐藤園芸、真庭学習塾

(2)パネルディスカッション

ファシリテーター: 真庭市長

パネラー: 事例紹介者 + 大月会長 (真庭市総合計画審議会)

(3)SDGsアクション宣言



真庭学習塾の取り組み(高校生)が印象に残りました。

# 出張報告書

津山市議会議員 安東伸昭

出張日	令和3年 2月24日
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	岡山県真庭市議会
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	真庭市議会令和3年第2回定例議会一般質問を傍聴する。
対応者／講師名	真庭市議会事務局
目的	議会一般質問の質問内容と答弁の経過 タブレット端末の活用状況の確認
概要	13人の議員が質問通告を提出しています。 各議員の質問、答弁が終了すると、換気のため10分程度休憩を入れる。
得られた成果 施政への反映点 今後の課題点 など	質問内容が、議員にもわかるので、関心の持てる質問については、しっかり答弁を聴いておられました。 傍聴者にも配布されるので、解りやすい 津山市議会としても、質問項目だけでなく、質問内容を具体的まとめたものを傍聴者に配布することを検討すべきと考える。

## 質問通告書



質問内容を具体的にまとめたものが、議会全員にタブレットに転送されているので、個々の質問内容の概要を知ることができる。

## 議場の様子(真庭市ホームページから引用する)



# 出張報告書

津山市議会議員 安東伸昭

出張日	令和3年 3月 4日
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	岡山県真庭市議会
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	真庭市議会令和3年予算特別委員会を傍聴する。
応対者／講師名	真庭市議会事務局
目的	議長を除く、議員による予算審査特別委員会 議事進行状況とタブレット端末の活用状況の確認
概要	日程は、3月4日、5日の2日間を取る。 津山市議会に予算、決算委員会を設置すべきとの考えを持っているので、参考になりました。
得られた成果 施政への反映点 今後の課題点 など	審議の手順は、担当部別に審査を行う。  説明者は、審査が終了すると担当部は入れ替わる。  日程1～日程7までを順次審査を行い、休憩  休憩の間に執行部の担当者が入れ替わる

## 予算審査特別委員会

日時 令和3年(2021年)3月4日(木)

午前10時30分～

場所 真庭市役所 議場

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 市長あいさつ
- 4 審査事項  
    (1) 付託案件の審査  
        (ア) 議程(9) 紙
- 5 閉会

議長は傍聴席から参加しておられます。



説明者(執行部)はタブレットの何ページとの表現をし、  
SideBooksの「会議通知」機能は使用していませんでした。

令和 3年 3月12 日

# 出張報告書

津山市議会議員 安東伸昭



出張日	令和 3年 3月12 日
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	岡山県議会
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	岡山県議会の特別委員会の協議状況を視察
応対者／講師名	岡山県議会
目的	岡山県議会 特別委員会の視聴  総合計画・行財政改革特別委員会を視聴することで、協議の経過、委員の意見を聴取する。
概要	10:00開会 執行部の説明を聴取した後、委員から質疑、提言がある。  視聴者が8人おられたが、大半が県の職員であり、視聴券の発行はしていない。
得られた成果 施政への反映点 今後の課題点 など	1年ごとに委員が交替する委員会では真の議論がされているのか？  今回の委員会の視聴だけで判断してはいけませんが、できていないように感じる



## 議事次第

令和2年度第1回定例会 日程

### 総合計画・行財政改革特別委員会会議順序

開議時間 午前10時30分  
会場 第1議事室

#### 1. 開会

#### 2. 行証事務

- 1) 行財政改革・地方分権推進・広域行政に関する調査  
2) 令和2年度における行財政改革の取組状況について

#### 3. 次回の委員会

#### 4. 閉会

## 付託事件

### 1 行財政改革・地方分権推進・広域行政に関する調査

#### 1) 令和2年度における行財政改革の取組状況について

## 視聴方法

委員会の傍聴は、テレビモニター越しに専用の受信機とイヤホンを使つての傍聴となります。

## 議事の流れ

### 委員からの質問の内容

#### 岡山県のふるさと納税について

流出している額は、9億円 納税額は124百万円

#### 組織風土の改善

具体的な内容について問う

一人一改善提案制度

普及指導員の数について

交付税の対象外となる(調べる必要あると考えた)

県職員で農業関係者が4000人

時代の変化に見合っているのか?との苦言がある。

第

令和 年 月 日

## 視聴券

岡山県議会

住所

氏名

- 裏面の視聴に当たって是非お読みください。
- 視聴券の有効期限は、発行日より1年です。